



行動的支援の研修プログラムが 主任保育士の支援行動に及ぼす 効果の検討

○田中善大*・三田村仰*・野田航**・馬場
ちはる*・嶋崎恒雄***・松見淳子***

*関西学院大学大学院文学研究科
**関西学院大学大学院文学研究科・日本学術振興会
***関西学院大学文学部

1



はじめに

- 保育士への研修
 - ✓ 就学前の児童の支援者である保育士に求められるスキル:
 - ・ 園児の気がかりな行動への気づきとその**アセスメント**
 - ・ アセスメントにもとづく効果的な**支援行動(支援の立案及び実施)**
 - ⇒ 保育士への研修のニーズが高まっている
- 現場の実践家に対する応用行動分析のトレーニング
 - ✓ 欧米: 多くの研究がある(e.g., Jones & Eimers, 1975; Iwata et al., 2000)
 - ✓ 日本: 研究が少ない
 - ⇒ **現場の実践家が短期間で**、応用行動分析学の原理や技法を効果的に習得するためのプログラムの研究が必要(井上, 2008)
- 保育士に対する短期間の研修プログラム(Dojo & Tanaka-Matsumi, 2008)
 - ✓ 対象: 主任保育士(他の保育士に対して指導、助言を行う立場)
 - ✓ 機能的アセスメントを含む応用行動分析の研修プログラムを実施
 - ✓ 効果検討: 研修のために作成された事例に対する支援行動(支援の立案スキル)を質問紙によって測定
 - ⇒ 研修受講後に研修に基づく行動的支援案が増加

2



目的

- Tanaka et al. (2010)
 - ✓ 対象、プログラム: Dojo & Tanaka-Matsumi (2008)と同様
 - ✓ 効果検討: 作成された事例に対する支援案の詳細な分析に加えて、実際の園児に対する支援についても検討
 - ⇒ 事例に対する支援案、実際の支援ともに、研修受講後に、**適切な行動への強化、不適切な行動に対する消去**に関連する支援行動が増加
- 本研究の目的
 - ✓ 新たな参加者(主任保育士)に対してTanaka et al. (2010)と同様のプログラムを実施し、支援行動として、支援の立案スキルの向上と保育園現場での実施上の効果を検討した。
 - ✓ 保育園現場での実施上の効果:
 - ・ 実施した支援の報告(園における支援内容の変化)
 - ・ 参加者以外の保育士の記録の実施(園内への普及)

3



方法

- 参加者
 - ✓ 保育士14名(主任13名、担任1名/全て女性)
 - ・ 本研修に参加した17名の内、質問紙を実施した最終セッションに欠席した3名を除いて分析を行った
 - ✓ 平均年齢: 39.7歳(範囲: 28歳 - 55歳)
 - ✓ 平均主任歴: 1.8年(範囲: 0年 - 5年)
- 対象園児(参加者が選択)
 - ✓ 14名(全て男児)
 - ✓ 平均年齢: 4.1歳(3歳 - 5歳)
 - ✓ 認定(障害児保育): 8名

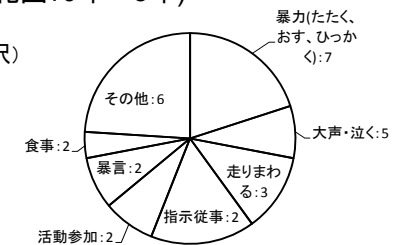


Fig. 1. 研修で取り組んだ行動.

4



研修プログラム

■ 主催

- ✓ A市発達障害者支援センター

■ 研修(講義+演習)

- ✓ 全4回(3時間半×4)
- ✓ 演習:グループワーク
 - ・事例検討、ビデオ教材(ABCの観察記録)等
 - ・各グループにファシリテーターが入る

✓ 内容:

- ・園児の行動とその前後の状況(周りの人の対応を含む)をできるだけ具体的に観察する
- ・園児の適切な行動を積極的に見つけて強化していく
- ・支援立案の際には気になる行動・困った行動を減らすことよりも望ましい行動を増やすことに焦点を当てる

■ 研修スタッフ

- ✓ 講師(1名)、ファシリテーター(2名)
- ✓ 発達障害者支援センターのアドバイザー
- ✓ [専門]応用行動分析、発達障害児への支援

5



研修内容

- 第1セッション(プレ):「行動の分類(増、減、今のまま)」
「行動の定義」「ABC分析(三項随伴性)」「強化、弱体化」
「ABCの観察記録(機能的アセスメント)」

↓(1週間):ABCの観察記録

- 第2セッション:「行動の機能」「機能に基づく支援」

↓(1週間):ABCの観察記録

- 第3セッション:「ABCの観察記録に基づく支援の立案」
「予防的な支援(先行刺激+強化)」「消去・分化強化」
「課題分析」「シェーピング」

↓(4ヶ月間):支援の実施

[希望園のみ巡回相談を実施(10園に実施)]

- 第4セッション(ポスト):「経過報告」「事例検討会」「支援方法の記録」



ABCの観察記録の記入例①

参加者Aの記録の一部(第3セッション提出分)

取り上げた行動:好きな遊びが見つげにくく、走りまわる

先行事象(A)	行動(B)	後続事象(C)
おやつあと、あそびが見つけられない	・四つん這いになって「ガオー」叫びながら部屋を回る	・周りの子も何人かつられ て恐竜になる
レゴブロックであそべるようにシートを敷いて用意している時。	ブロックの箱から先にほしいブロックをとろうとする	まわりの子に「まだとったらあかんやろ!」と強めに言われる
まわりの子に「まだとったらあかんやろ!」と強めに言われる	「うるさい」と言って、ブロックの箱を持っている友達を叩く	・友だちと叩き合いになる。 ・担任がすぐにとめる
おやつあと 後片付け 帰りの準備がおわる	あそびがみつからずウロウロする	・チェーリングをつないだのを見せて「する?」と誘う
〃 ←	集中してつないであそぶ	・友だちが「きれいやなあ」という



ABCの観察記録の記入例②

参加者Bの記録の一部(1・2段目が第2セッション、3段目が第3セッション提出分)

取り上げた行動:危険な行動(机や窓枠に登る)

先行事象(A)	行動(B)	後続事象(C)
・テラスでスーパーボールすくいをした時。 ・カラフルなボールを気に入り、取ろうとする。	・プールの中に入って しまう。	・「入らないで」との声かけでは戻らず、手をひくと抵抗せずに出てくる。 ・その後は入ろうとしない。
・午睡のお部屋に移動した時。	・部屋に入ってすぐ窓枠に登る。	・「魔女がくるよー」と声をかけておろす。 ・一度おろした後は登らない。 ・周りの子は見ているだけ。
・午睡の準備の時。 ・担当の保育者がベッ トをしいている。	・笑いながら窓枠に登る。	・担当の保育者が側に来て降ろす。 ・子ども達から「ダメ!!」と言われる

8



データの収集

- 支援の立案スキルに関する記述式アセスメント
 - ✓ 研修のために作成した事例(共通事例)に対する支援方法を自由記述によって回答
 - ✓ 共通事例(A:おもちゃを投げる/B:机の上に乗る)
 - ・ 行動問題の機能:注目(先行事象「保育士が他児とかかわっている」、後続事象「保育士が本児の側にくる」)
 - ✓ 実施: プレ(第1セッション)、ポスト(第4セッション)
 - ✓ プレとポストは異なる事例(A/B)
- 対象園児への支援
 - ✓ 保育園の現場における各参加者の対象園児に対する支援方法を自由記述によって回答
 - ✓ 実施: プレ(研修受講前)、ポスト(第4セッション)
- 支援の効果 / 園内への普及 (実施:第4セッション)
 - ✓ 支援の効果: 対象園児の困った行動(取り上げた行動)と望ましい行動(困った行動に代わる行動)の増減について3件法(減った、変化なし、増えた)で回答
 - ✓ 園内への普及: 参加者以外の保育士がABCの観察記録を対象園児、対象園児以外の園児のそれぞれに対して実施したか否かについて2件法で回答

9



支援の立案スキル / 対象園児への支援の分析

- 定義に基づく分類
 - ✓ 信頼性: 共通事例への支援95.8% / 対象園児への支援91.6%

研修に基づく支援

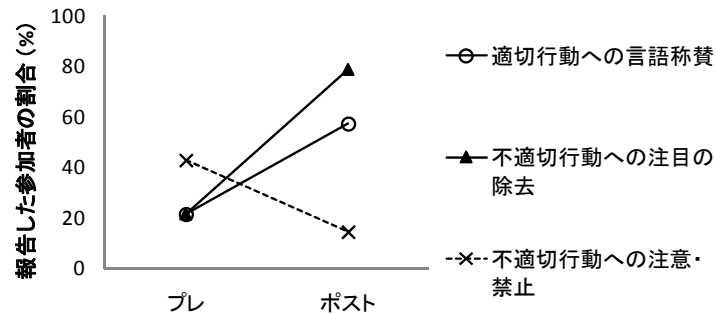
支援名	定義
適切行動への言語称赞	適切な行動に対してほめる、認めるなどの言語称赞を用いた強化に関する支援(例、できたことをほめる/できたことを保育士、園児に伝えるなど)
適切行動への言語称赞以外の強化	適切な行動に対して特権を与える、スキンシップを行うなど言語称赞以外の強化に関する支援
不適切行動への注目の除去	不適切な行動に対して、無視する、注目しない、さっと流すなどの消去(注目の除去)に関する支援
不適切行動への注意・禁止	不適切な行動がいけないこと、危険であることを伝える、注意する、あるいはその際の伝え方の工夫に関する支援(例、短い言葉でハッキリと注意する、視覚刺激を使っていけないことを伝えるなど)
パニックへの対応	パニックなどに対して、落ち着くまで、抱っこする、背中をさするなどの園児を落ち着かせることに関する支援

- テキストマイニング (松村・三浦,2009)
 - ✓ ソフトウェア: TinyTextMiner (TTM)
 - ✓ 形態素解析によって語を抽出
 - ✓ プレ、ポストの各語の人数を算出し、その変化を分析

10



分類: 支援の立案スキルの変化



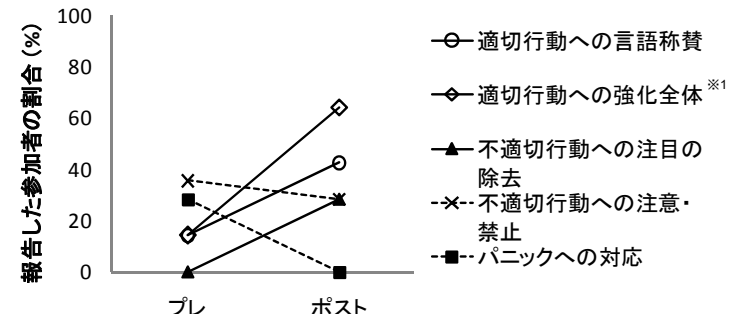
※ 適切行動に対する言語称赞以外の強化、パニックに対する対応はプレ、ポストともに回答がなかった

- 適切行動に対する言語称赞、不適切行動に対する注目の除去: ↑
⇒ **研修にもとづく支援(分化強化)が増加**
- 不適切行動に対する注意: ↓
⇒ **焦点を当てる行動が変化(不適切な行動 → 適切な行動)**

11



分類: 対象園児への支援の変化



※1 適切行動への強化全体: 適切行動への言語称赞+適切行動への言語称赞以外の強化

- 適切行動に対する結果、不適切行動に対する注目の除去: ↑
⇒ **研修にもとづく支援(分化強化)が増加**
- 不適切行動に対する注意、パニックへの対応: ↓
⇒ **焦点を当てる行動が変化(不適切な行動 → 適切な行動)**

12

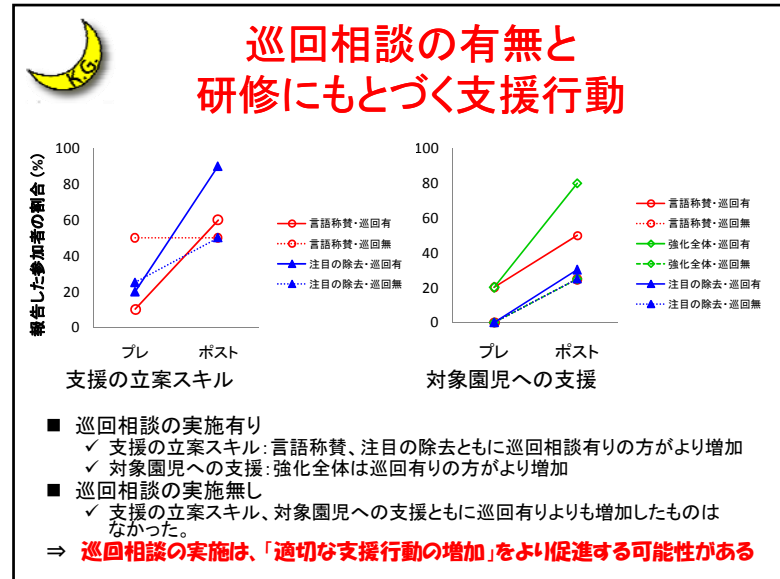
テキストマイニング: 支援の立案スキル/対象園児への支援

支援の立案スキル(人数):増加				支援の立案スキル(人数):減少				対象園児への支援(人数):増加				対象園児への支援(人数):減少			
語	プレ	ポスト	差分	語	プレ	ポスト	差分	語	プレ	ポスト	差分	語	プレ	ポスト	差分
1 ほめる	4	10	6	1 伝える	8	3	-5	1 ほめる	1	8	7	1 ある	6	2	-4
2 乗る	3	8	5	2 楽しい	5	1	-4	2 名前	1	4	3	2 いる	4	0	-4
3 机	3	8	5	3 行為	5	1	-4	3 行方	1	4	3	3 掃除	4	0	-4
4 行動	0	4	4	4 見ら	8	5	-3	4 前	1	4	3	4 遊ぶ	5	2	-3
5 注目	0	4	4	5 注意	4	1	-3	5 集団	0	3	3	5 そば	4	1	-3
6 掛ける	3	6	3	6 方法	3	0	-3	6 増やす	3	0	-3	6 増前	3	0	-3
7 かかわる	2	5	3	7 危険	3	0	-3	7 説明	0	3	3	7 誘う	3	0	-3
8 声	1	4	3	8 知らせ	4	2	-2	8 内容	0	3	3	8 部屋	3	0	-3
9 場面	0	3	3	9 他	4	2	-2	9 好き	0	3	3	9 手	3	0	-3
10 自由	0	3	3	10 十分	3	1	-2	10 次	1	3	2	10 抱っこ	3	0	-3
11 前	0	3	3	11 気持ち	3	1	-2	11 何	1	3	2	11 自分	4	2	-2
12 かかわり	3	5	2	12 子	3	1	-2	12 ない	1	3	2	12 ない	4	2	-2
13 誘う	2	4	2	13 積み木	3	1	-2	13 話	1	3	2	13 遊ぶ	4	2	-2
14 他児	2	4	2	14 そば	2	0	-2	14 種類	0	2	2	14 待つ	3	1	-2
15 作る	2	4	2	15 離れる	2	0	-2	15 無視	0	2	2	15 トイレ	3	1	-2
16 自由遊び	1	3	2	16 絵カード	2	0	-2	16 呼ぶ	0	2	2	16 状態	2	0	-2
17 多く	0	2	2	17 共有	2	0	-2	17 考える	0	2	2	17 食事	2	0	-2
18 無視	0	2	2	18 使う	2	0	-2	18 達成感	0	2	2	18 寝る	2	0	-2
19 笑顔	0	2	2	19 満たす	2	0	-2	19 思い	0	2	2	19 個別	2	0	-2
20 一言	0	2	2	20 なる	2	0	-2	20 方法	0	2	2	20 確認	2	0	-2
21 かく	0	2	2	21 ひく	2	0	-2	21 ひく	0	2	2	21 入る	2	0	-2
22 状況	0	2	2	22 対応	2	0	-2	22 対応	0	2	2	22 要求	2	0	-2
23 ある	0	2	2	23 注目	0	2	2	23 注目	0	2	2	23 表現	2	0	-2
24 遊べる	0	2	2	24 態度	0	2	2	24 つなぐ	0	2	2	24 つなぐ	2	0	-2
25 観察	0	2	2	25 対象児	0	2	2	25 促す	0	2	2	25 促す	2	0	-2
26 上手	0	2	2	26 参加	0	2	2	26 参加	0	2	2	26 安寝	2	0	-2
27 上がる	0	2	2	27 入れる	0	2	2	27 ハニック	2	0	-2	27 ハニック	2	0	-2
28 今	0	2	2	28 設ける	0	2	2	28 嫌	2	0	-2	28 嫌	2	0	-2
29 降りる	0	2	2	29 明確	0	2	2	29 起こす	2	0	-2	30 ケガ	2	0	-2
								31 コントロール	0	2	2	31 コントロール	0	2	-2
								32 興奮	2	0	-2	32 興奮	2	0	-2

■ ほめる、注目(しない)、無視: ↑
⇒ 研修にもとづく支援(分化強化)が増加

■ 注意、危険、絵カード(「いけないこと」を伝えるために): ↓
⇒ 焦点を当てる行動が変化(不適切な行動 → 適切な行動)

■ 見守る: 抽象的な一般的な支援



支援の効果/園内への普及

■ 支援の効果

- ✓ 困った行動の減少を報告: 85.7%
- ✓ 望ましい行動の増加を報告: 78.6%
- ✓ 困った行動の増加 or 望まし行動の減少を報告: 0%

■ 園内への普及

- ✓ 参加者以外の保育士のABCの記録を
対象園児に実施: 64.3%
- 対象園児以外の園児に実施: 28.6%

⇒ ABCの記録が園内に広がっている

考察

■ 支援の立案スキル・対象児への支援

- ✓ 研修にもとづく支援(分化強化)が増加
- ✓ 支援の焦点の変化:
不適切な行動への対応 → 適切な行動を増加させる支援

⇒ **本プログラムは、参加者の適切な支援行動の増加を促すものであった**

■ 今後の研究

- ✓ 実験者による行動観察
 - ・ 観察対象: 参加者の支援行動、対象園児の行動
- ✓ 獲得したスキル維持、向上のための随伴性
 - ・ 事例検討会(7名) / ファシリテーター(1名)
- ✓ 参加者に対するフォローアップの調査
 - ・ 保育所・園への普及、定着